



市民活動の 新たな挑戦

いろいろな悩みや不安、難題を抱える人たちを支え、問題解決に積極的に取り組む市民活動は各地です。野を広げている。フアイザーではヘルスケアの分野の市民活動を支援し、その社会的認知を高めることを目的に、2000年から助成プログラムをスタートさせた。過去の実績にとらわれずに、活動のユニークさと将来性に評価の重点を置いているのが特徴。2002年度の助成対象となった各プロジェクト(左頁参照)を中心に、9回連続(今回は第1回)でリポートする。



写真上/地元劇団と一般参加者、「どんこや」メンバーがコラボレーションした「演劇ワークショップ」。障害の有無を問わず、参加者たちは体一つで表現できる可能性と楽しさを知ったようだ
写真下/所長の友井絹子さん(右)と事務局の高橋夏樹さん

アートステーションどんこや 芸術とヘルスケアの関わりによる まちづくり事業 (宮崎県)

アートに宿る “人と人をつなぐ力”で 誰もが住みやすい街をめざす

日常生活、街、そして人。
この3つのつながりを「アート」表現活動を通じて、より深めていこうというのが、福祉作業所である「アートステーションどんこや」の活動理念。自らも障害のある所長の友井絹子さんをはじめ多くのメンバーたちが、街そのものをアトリエやギャラリー、あるいは舞台に、さまざまな創作を行っている。
「アートには、他人と初めて接するときの緊張感や警戒心を緩和し、コミュニケーションをスムーズにする“人と人をつなぐ力”があります。街の中でそのアートに取り組むことで障害者と健常者の垣根をなくし、それぞれの存在価値を改めて知ることでヘルスケアに



と健常者の垣根をなくし、それぞれの存在価値を改めて知ることでヘルスケアに

つなげようと考えています」
そう話す事務局の高橋夏樹さんが現在の活動に関わるきっかけも、ある障害者の彫刻作品に出会ったことだった。それを機に障害者のアートに興味を抱き、奈良の社会福祉法人「たんぼの家」で1年間ボランティアを経験。そんな折「どんこや」の存在を知り、宮崎へとやってきた。
当初は障害のあるアーティスト表現者たちの創作活動のサポーターがメインだったが、誰もが住みやすい街づくりも視野に入れ、地域の人々とのつながりを深めるべく、展览会やワークショップも開催。
今年の3月には地元劇団と障害者、一般参加者が一体となって「表現空間」をつくりあげる、演劇ワークショップを3回に渡って実施した。
「障害のある人もない人も、演劇を通じて自分そのものが



さまざまな人々の思いをシンボリックな旗にして、街の中に掲げる「フラッグアート」。地域の結びつきを深め、誰もが住みやすい街づくりをめざす(写真は昨年の様子)

表現手段であることを認識し、また表現する楽しさを知ったようです」
夏には、地域とのコラボレーションの一つとして「フラッグアート(大きな布に各自が思い思いの絵を描く)」を、宮崎市内の中心商店街と協同で行う。
「街の人々が制作に参加するのは数日間ですが、それを2カ月かけて大旗に仕上げ、商店街などに2週間ほど展示します。老若男女、障害の有無を問わず、より多くの人と交流し、表現することが、決して難しいことではなく、とても楽しいことだと感じてもらえれば、と思っています」
このフラッグアートも、計画段階から障害者が主体的に関わる。この街に住むさまざまな人々が、イキイキと豊かな心を持った街づくりに取り組んでいる。

**2002年度
助成対象プロジェクトの
団体名・活動内容・
主な活動地域**

1	重度知的障害者の デイサービス事業の創設 特定非営利活動法人 障害者家族地域生活支援事業所 フリーダム十勝(北海道)
2	精神障害回復者 小規模共同作業所マップ 特定非営利活動法人 札幌作連(北海道)
3	商店街で活動する精神障害者の ピアサポート支援事業 特定非営利活動法人 SAN Net青森(青森県)
4	青年とまちのひとがふれあう場 「とらいスペース」の開設 特定非営利活動法人茨城NPO センター・commons(茨城県)
5	ひきこもり当事者による 雑誌発行プロジェクト 特定非営利活動法人 東京シュレ(東京都)
6	女性アルコール依存症者 サポートセンター事業 特定非営利活動法人 ジャパンマック(東京都)
7	ミヤマーノドーボン郡区 障害者支援事業 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン(東京都)
8	プライマリヘルスケア・アプローチ による路上死のない街へ 新宿連絡会医療班(東京都)
9	摂食障害者の自立と成長のための ピアサポート事業 日本アレルギー・アミア協会 (東京都)
10	病気の子ども支援のための 情報発信とネットワーク構築事業 病気子どもネット・京都(京都府)
11	知的障害者の性の ワークショップ事業 特定非営利活動法人エンパワメント ・フランジング協会(大阪府)
12	小児がん患児、家族の 精神的サポート体制の確立事業 特定非営利活動法人 エスビューロー(兵庫県)
13	精神障害者ピアヘルパー等 養成事業 兵庫県高齢者生活協同組合 (兵庫県)
14	在日外国人高齢者の地域における 居場所づくり事業 神戸定住外国人支援センター (兵庫県)
15	芸術とヘルスケアの関わりによる まちづくり事業 アートステーションどんごや(宮崎県)

※他に、12団体が継続助成対象として
プロジェクトを行なっています。

**【ファイザープログラム】
心とからだのヘルスケアに
関する市民活動支援**

2003年度 募集要項

1. 募集期間: 2003年6月16日～7月18日
2. 助成金: 1件あたり300万円を上限とし、
本年度は15件程度の助成を予定して
います
3. 助成の期間: 2004年1月1日～12月31
日(1年間)とします
4. 対象となる分野: 特に次のようなプロ
ジェクトを重視します。
 - 1) 成長過程にある人たちの心身のす
こやかな発達を支援する活動
→ おもに10代が抱える問題を克服し
生きる喜びをもつことを助けるもの
 - 2) 社会的な受け皿がないために保健・
医療が受けられない人たちの心身
のケアを支援する活動
→ 外国人、路上生活者、PTSD(心的
外傷後ストレス障害)などの人たち
を対象とするもの
 - 3) 障害をもつ人や療養にある人たち
の充実した生き方を支援する活動
→ 身体障害、知的障害、精神障害など
の人たち、難病、長期療養にある人
たちの社会生活を豊かにするもの
5. 問い合わせ先:
ファイザープログラム事務局
プログラムの詳細は、こちら
[http://www.pfizer.co.jp/pfizer/
company/philanthropy](http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy)



写真上/協力者の越谷秀明さん
が経営する軽運送業の一部
を請負い、お買物宅配の集荷
作業をしている若者たち。2人
一組になって、商店街を車で
回っていく
写真下/ 代表の根本あや子さん
(左)とご主人で事務局長を
務める根本俊雄さん



仲間がいる」と
実感し、自信を
取り戻していく
ことができました。
そのためには素
直に自分を出せ

**特定非営利活動法人SAN Net青森
商店街で活動する精神障害者の
ピアサポート支援事業
(青森県)**

精神障害者のためのオープ
ンスペース「SAN Net青森」
は、青森市の中心商店街である
新町商店街の一角にある。
20坪くらいの部屋では、10人
ほどの若者たちがそれぞれ思
い思いに過ごしている。大き
な声で語り合っている者、寝
ている者。かと思うと、遅め
の昼食をとっている者もいる。
「ここに来るのは20代から40
代、30代が中心。彼らは自ら
持つ病気によって、自分は社
会の中で必要とされていない
人間、いてもいなくてもいい
存在なんだと思ひ詰めてしま
うことが多い。ここに来るこ
とで「独りぼっちじゃない、

**精神障害者と
商店街が共存共栄する
居心地のいいオープンスペース**

自由な場所が必要でした」
と、代表の根本あや子さん
は振り返る。もともと横浜の
福祉事務所などのケースワ
ーカーとして働いていたが、4
年前、根本さんと同じように
精神保健の領域で活動したい
と思っていたご主人と30年ぶ
りに故郷の青森に帰る。職も
ツテもない状況の中で精神障
害者のための拠点づくりを目
指していた。運よく空き店舗
を借りることができ、99年6
月に当事者も含めて10人でス
タート。やがて「福祉対応型
商店街」として街の活性化を
すすめていた新町商店街との
協力関係も徐々に生まれてい
く。割り箸りサイクルを手は
じめに、買い物アンケート調
査、お買い物宅配の一部請負
などの作業をSNNCの若者
たちが分担。祭などのイベン
トにも参加することで商店街
や市民との結びつきも深まり、
元氣な声が響いている。



事務所を兼ねたオープンスペース。「作
業所とかいろいろ回ってみたいけど、ここま
で明るくて、みんながいろいろ喋れるところ
は初めて」と語る当事者たち